

やまなみ

広報 NO. 34

生駒市人権教育推進協議会

事務局 生駒市人権施策課内

TEL 0743-74-1111 (内線 653)

Email: jinsuikyo@city.ikoma.nara.jp

発行 2014年6月27日

生駒市人権教育推進協議会（略して、市人推協）とは……

1972年に結成された「生駒市同和教育推進協議会」が果たしてきた役割と成果を踏襲しながら、2002年組織を改編し、市内の29団体と個人会員で構成された組織となって、市民自ら様々な人権問題の解消を目指して活動しています。

2014年度の計画

- ・ 総会 6月27日（金）午後1時～
生駒市コミュニティセンター文化ホール
- ・ 研究大会（2015年）2月20日（金）午後
生駒市コミュニティセンター文化ホール
- ・ 理事研修会 11月

人権教育の推進には、市人推協の目的に賛同する個人及び加盟団体から選出された理事が大きな役割を果たしています。総会や研究大会の前に理事会を開き、活動方針や研究大会の開催について協議します。

昨年度の理事研修会は、立命館大学の「平和ミュージアム」で戦争と平和について考える展示に触れ、「高麗美術館」で日本と朝鮮半島との文化交流の歴史を学ぶ研修を実施しました。

人権教育講座「山びこ」

は、年間7回の実施です。

日常生活の中にあるさまざまな人権問題を取り上げ、身近なこととして受け止めてもらえる場です。参加者は、市内の幼稚園や小中学校・高校のPTAや育友会、主任児童委員、民生委員・児童委員、市職員で、毎回100名ほどで会場がいっぱいになります。

2013年度 第5回 寸劇で学ぶ！「女性の人権」 12月13日（金）

奈良県女性センター男女参画いきいきサポーターチーム「いきサポ座」

～3つの寸劇とは…～

①『自治会編 はい、私がやります！』

「男女は平等だ」と学校で教えられたのに、世の中には性別役割分担意識に基づく考えや男性優位の社会はまだ残っているようです。「長」のつく役職は男性？自治会役員の改選で…

②『老老介護編「ばあさんや…」』

子どもを独立させてやれやれと思ったところに老老介護という厳しい現実が迫ってきました。「夫の世話は妻の仕事」とがむしゃらに頑張っている、自身の老いには勝てません。夫婦で、心身ともに健康な間に、お互いの介護の仕方考え方を考えておくべきだったようです。

2013年度

研究大会



理事会



理事研修会

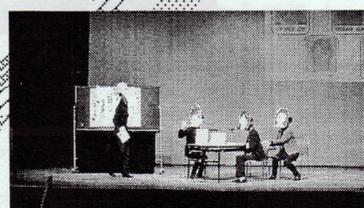


③『女の決断編「二日が限界？」』

高校時代からの仲良し4人組が旅行の計画を話し合うために集まりました。行き先を決める中でそれぞれの家庭の事情が浮かび上がってきました。

～講座のようすと受講者の感想～

3つの寸劇を通じてジェンダーについて考えさせられました。導入で「ジェンダー」について、エプロンと人形を使った“紙芝居”でわかりやすい説明があり、「自治会編」の寸劇が始まりました。自治会役員の選出を巡ってのやり取りに「うちの自治会でも自治会長でよくもめると聞きます。…年配の方や地元のことをよく知っている男性に頼ってしまうのもジェンダーですね」という感想がありました。



次の寸劇は「老老介護編」です。80代の主婦が子どもたちに頼らず夫の介護をしている場面に「私の実家を見ているようでした。そしていつか自分もそういう時が来るかと思うと心の重い問題です。主人も“自分が男だから”と逃げないで一緒に介護してもらいたいと考えます」と感想を書いています。

3つ目は「女の決断編」です。仲良し4人組が旅行の計画を話し合いますが、それぞれの家庭事情が見えてきます。「専業主婦と社会に出ている女性の考え方の違いがあまりにもあって、改めて面白かった」という感想や「夫が家事をしないのはさせなかったからでしょうという言葉にハッとしました」など、多くの共感を得ました。

寸劇でどこにでもある光景の中に「女だから、男だから」という固定観念で縛られていることがあるということをわかりやすく理解できました。会話の中に笑いを入れ、寸劇の合



間にはクイズもあり、楽しく学習が進みました。

間にはクイズもあり、楽しく学習が進みました。

2014年度「山びこ」講座 予定表

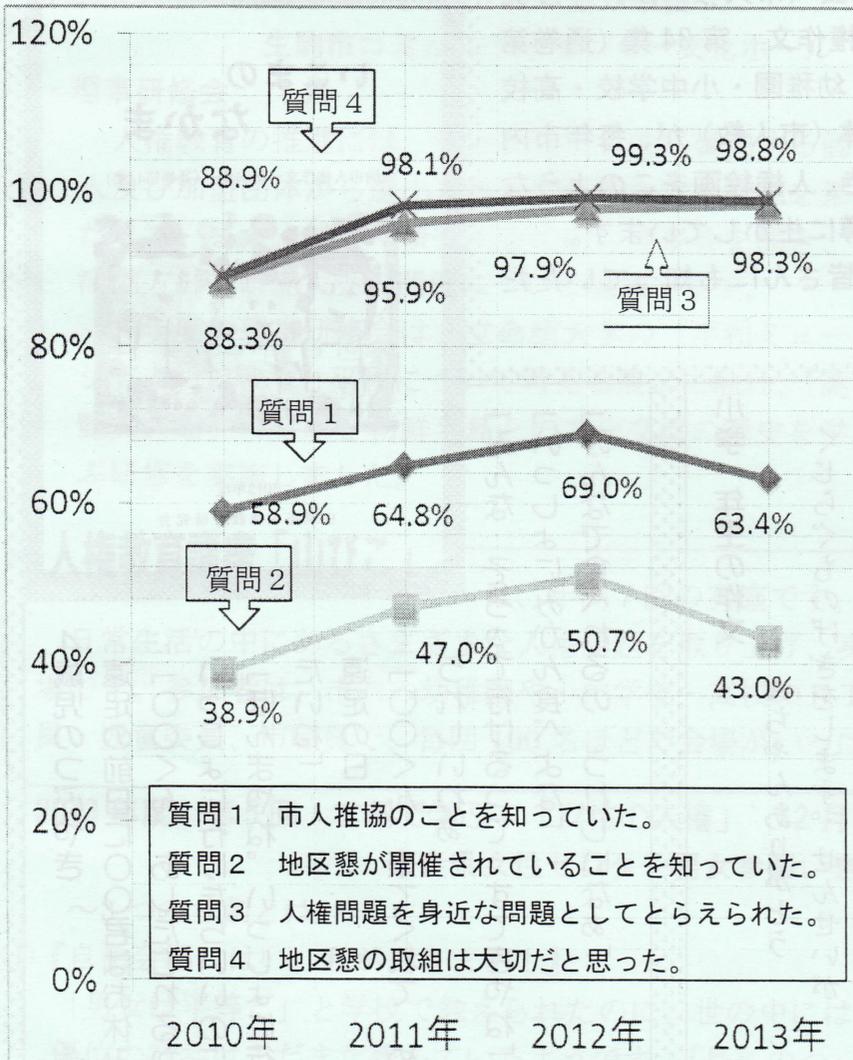
	月 日 会 場	テーマ	講 師
1	7月11日(金) 10:00~11:30 コミュニティセンター 4階403会議室	障がい者を取りまく地域の 実情と私たちの取り組み	社会福祉法人いこま福祉会 かざぐるま 副施設長 中辻 勇 さん
2	9月12日(金) 10:00~11:30 コミュニティセンター 4階403会議室	ネットトラブルに巻き込ま れないために	京都府警ネット安心アドバイ ザー・リーダー 石川 千明 さん
3	10月10日(金) 10:00~11:30 コミュニティセンター 4階403会議室	思い出探し隊に参加して ～東日本大震災・紀伊半島大水 害「言葉を失う場所から」～	旅フォトグラファー 三田 崇博 さん
4	11月14日(金) 10:00~11:30 コミュニティセンター 4階403会議室	もっと知ろう外国の文化 (中国編)	(社)まちづくり国際交流センター 林 宏美 さん

5	12月12日(金) 10:00~11:30 コミュニティセンター 1階文化ホール	寸劇で学ぶ! 「女性の人権」 パートⅡ	奈良県女性センター男女参画 いきいきサポーターチーム 「いきサポ座」
6	1月30日(金) 13:30~15:00 コミュニティセンター 1階文化ホール	じんけんひろば講演会	調整中
7	2月20日(金) 13:00~16:00 コミュニティセンター 1階文化ホール	第42回生駒市人権教育推進 協議会研究大会	活動報告 記念講演

地区別懇談会（地区懇）

は、地域の中で人権問題に気づき、話し合ってお互いの絆を深める場として、各自治会で開催されています。2013年度は中・西地区を中心に12自治会で実施されました。今年度は東・南地区中心の開催です。

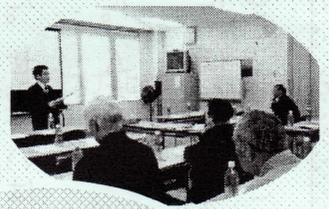
地区懇参加者アンケート



各地区懇で参加者にアンケートを実施していますが、左のグラフは過去4年間の結果を表しています。

各自治会の努力で地区懇の活動や人権教育の取組への理解が進んでいることがわかります

今年度は東・南地区中心の開催となりますが、各自治会の希望を尊重しながら、内容を充実させ、人権尊重のまちづくりを前進させる地区懇を実施していきます。



アンケートから

「地域の人々のふれあいの場を作ることに役立つと思います。」

「自分だったら、、、と考える1時間でした。」

「身近に感じられるようにもっと具体的な話を出してほしい。」

観て学ぶ 人権

***いろいろな人権について
DVD やビデオで学習しませんか***

生駒市人権施策課では、市民の皆さんが人権について学習する教材として、人権に関するビデオやDVDを125巻所有し、貸し出しています。今年度も目録を作成し自治会や学校等に配布しました。研修等で使ってみたい、関心があるという方は人権施策課にお問い合わせください。



(上)『ネットと上手につき合おう』 中学生とのやり取りを通じて有効にネットを利用するヒントを提供します。

(左下)『ほんとの空』 息子が友達を思う純粋な気持ちや隣人の外国人との交流を通して誤解や偏見について気付きます。

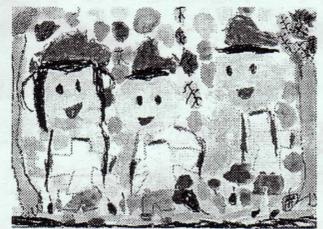
(右下)『クリームパン』 失業中の青年は虐待されている子どもやパン屋の店主と出会い、命の尊さや人とのつながりについて考えます。

⇒右の冊子は生駒市人権教育研究会（市人教）が昨年度発行した「いこまのなかま 生駒市人権作文 第34集（通巻第44集）」です。生駒市内の保育園・幼稚園・小中学校・高校の教職員による人権教育の研究団体（市人教）が、毎年市内の子どもたちの人権作文やつぶやき、人権絵画をこのような本に編集し、学校・学級等での指導に生かしています。

子どもたちの素直で温かい心を皆さんにも知っていただきたいと思い、紹介します。

いこまのなかま

生駒市人権作文 第34集（通巻第44集）



2013年度

生駒市人権教育研究会

4歳児のつぶやき

遠足の前日に〇〇君はお休み。

「〇〇くん、あしたこれるかな。」

いっしょに行けたらいいのになあ」

「ほんまやね。いっしょに行きたいね」

遠足の日

「〇〇くん。来てくれて めっちゃうれしいわあ」

「みんな そろって行けるって すてきやね」

「いっしょにみかん食べよな」

「みんなで食べれるの うれしいなあ」

小学一年生の作文

Aちゃんありがとう

くじらぐものげきをします。せんせいが

「ひとり、ひとこと、せりふをいってね。」

と、いいました。ぼくはどうしようとおもいました。

すると、Aさんが、

「せんせい、だれかといっしょにやってもいいですか。」

とききました。せんせいは、

「いいよ。」

といいました。Aさんが、

「やろう。」

といいました。ぼくは、「うん。」

とこたえました。ぼくはこころのなかでほっとしました。